

令和3年3月新規学校卒業者
の積極的な採用と魅力ある職場づくりの
推進について

佐 賀 県

佐賀労働局

令和2年5月18日

令和3年3月新規学校卒業者の積極的な採用と魅力ある職場づくりのお願い

新規学校卒業者の就職対策につきましては、日頃から格別の御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、県内の令和2年3月新規高校卒業者の就職内定率は、今年3月末時点では99.4%となり、平成9年度以降では前年度に次いで過去2番目に高い数字となりました。特に、昨年10月末時点では85.6%（全国6位）と全国的にも早い時期での内定をいただいているところです。また、県内の令和2年3月新規大学等卒業者の就職内定率も、4月1日時点で95.7%と高い水準を維持しています。

このことは、関係機関並びに県内企業の皆様の御理解、御協力のもと、採用枠拡大の取組や求人票早期提出の取組を進めていただいたことによるものと深く感謝申し上げます。

一方で、新規高校卒業者の県内就職率は、産学官による取組の結果、令和2年3月においては61.9%と60%を超えることができましたが、依然として、就職希望者の約4割が県外に仕事の間を求める状況が続いているところです。

その要因としては、人手不足の進展に伴う雇用機会の全国的な拡大に加え、初任給水準をはじめとする労働条件格差が少なからず影響しているものと考えられます。

新型コロナウイルスによる感染症の影響拡大に伴い、観光客の減少や各種イベントの中止、外出自粛などにより、県内の消費が落ち込むとともに、世界的な需給停滞により、資金繰りや雇用の維持が難しい企業が出るなど経済活動にも多大な影響が出ています。

こうした中であっても、少子化の影響による若年労働力の減少傾向は変わらず、将来の佐賀県を支えていく高校生の県内への定着を促進していくことは、県内企業の成長や地域の産業振興にとって重要な課題であることに変わりありません。

各機関傘下の企業等におかれましては、厳しい経済状況ではありますが、このような時こそより良い人材確保できる機会と捉えていただき、中・長期的な観点から新規学卒者の継続的かつ積極的な採用と、労働条件の一層の改善に努めていただくとともに、働き方改革関連法の遵守を含めた「働きがい」「働きやすさ」を意識した魅力ある職場づくりにも引き続き積極的に取り組んでいただくようお願い申し上げます。

なお、各公共職業安定所では、来春高校卒業予定の生徒を対象とする求人の受付を6月1日から開始します。本年におきましても、早期に採用計画を立てていただき、推薦開始前の校内選考の時期（7月下旬）までに求人票を提出いただくようお願い申し上げます。

以上、貴協会加盟企業の皆様方に対し、会議・会報等あらゆる機会を通じ呼びかけていただきますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

令和2年5月18日

佐賀県商工会議所連合会会長

陣内 芳博 様

佐賀県知事

山口 祥義

佐賀県教育委員会教育長

落合 裕二

佐賀労働局長

加藤 博之

